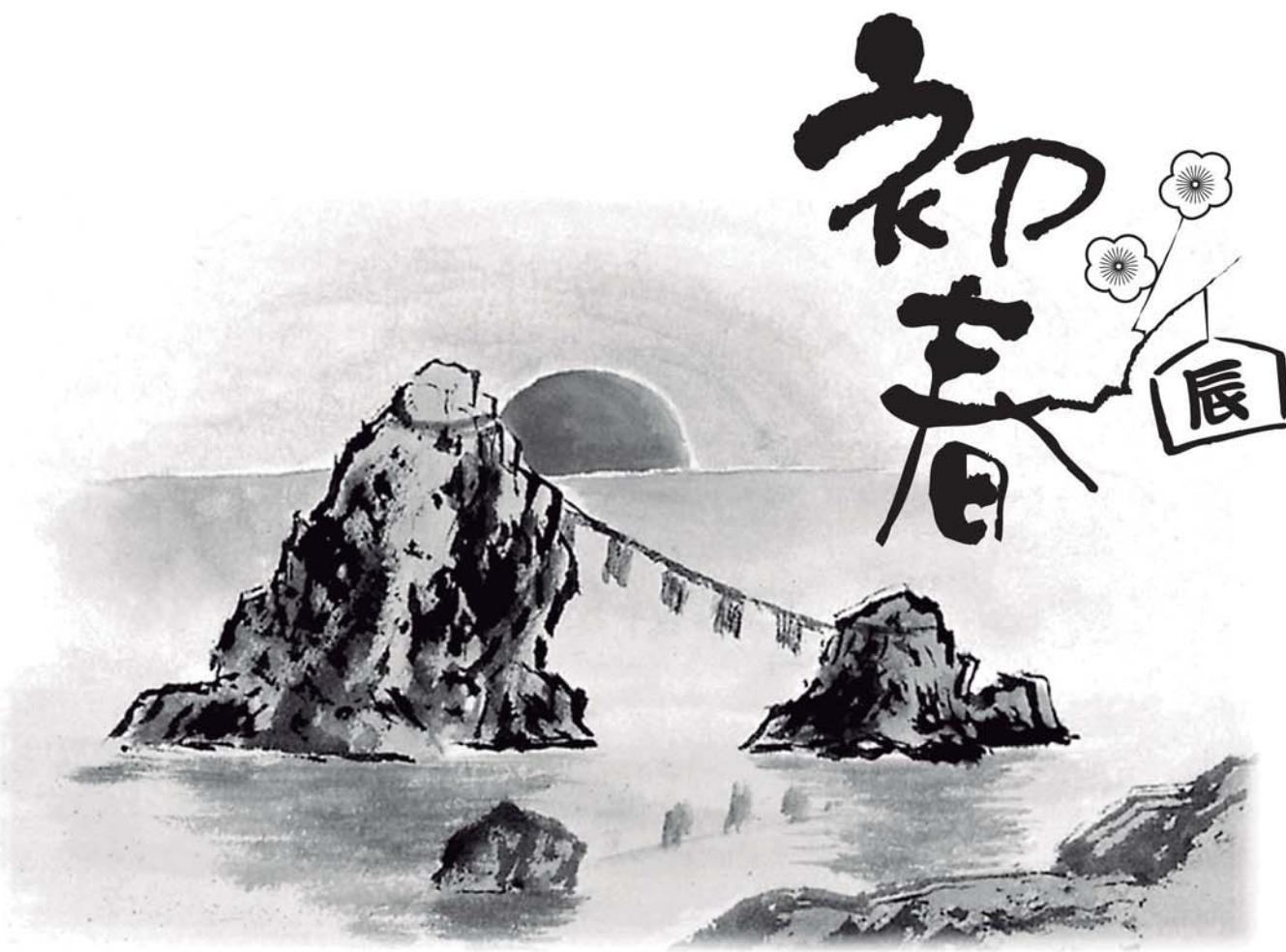


# あま市 社協だより

2012年1月1日

第12号



## 目 次

会長挨拶 東日本大震災義援金	2
東北災害支援	3
ふれあい交流会、子ども会大会	
大会結果、祝100歳	4
カメの万歩くん 認知症シリーズ②	
ボランティアコーナー	5
各種サロン、寄付報告、法律・心配ごと相談	6

発 行 社会福祉法人あま市社会福祉協議会  
あま市西今宿馬洗46番地  
(あま市甚目寺総合福祉会館内)  
☎(052)443-4291 FAX(052)443-5461  
ホームページ <http://www.ama-syakyo.jp/>



# 謹賀新年

あま市社会福祉協議会会長

青木精三

新年あけましておめでとひざひります。  
市民の皆様には、明るい年になることを期待する気持ちで新春をお迎えのことと推察申し上げます。

旧年中は、あま市社会福祉協議会に深い理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、円高をはじめとする昨今の厳しい社会情勢の中、少子高齢社会の急速な進行、雇用や生活の不安、東日本大震災の長引く深刻な影響等、様々な社会不安が増す中で、より一層の地域福祉の充実が求められています。

旧七宝町・美和町・甚目寺町の社会福祉協議会が平成22年3月に合併してから間もなく2年が過ぎようとしています。

あま市の新しい地域と枠組みの中で、共に地域におけるお互いの絆を育むことができる福祉サービスを提供する「体感のある社会福祉協議会」の実現をはかります。

また、組織運営と福祉事業を効率よく展開すると共により一層高い水準の福祉サービスを提供するため「あるべき姿」の実現を目指して、今年も引き続き、改善と改革を進めます。

行政や関係機関及び、各種団体等との連携を強めながら、市民の多様化する要望に応えるべく福祉活動の充実及び、地域の実情に的確に対応した取組みを推進します。

更に、あま市社会福祉協議会では、本支所にある介護保険3事業と・施設の管理事業、障がい者支援事業等のサービス向上と効率化を推進します。皆様からの貴重な会費や赤い羽根共同募金等を財源として、地域に密着した「あま市健康福祉まつり」・「配食サービス事業」・「寝具洗濯乾燥消毒サービス事業」・「法律相談・心配ごと相談」・「三世代交流大会」・「福祉協力校」・「車いす貸出」・「車いす専用車両貸出」等を実施いたします。

去年は東日本大震災の復興支援に職員を派遣しましたが、当地域も東海・東南海地震で被災地になることを想定した、災害ボランティアの育成と訓練を考えています。

最後になりますが、本年も引き続き、市民の皆様、関係機関・団体、事業所をはじめ多くの皆様からのご指導とご鞭撻をお願い申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 東日本大震災義援金

被災地支援のため、義援金を受け付けております。

なお、領収書を希望される方は、義援金をご持参のうえ、社会福祉協議会事務局にお越しください。

お預かりしました義援金は、共同募金会を通じて、被災にあわれた方々の復興の支援に活用させていただきます。

これまでの義援金額  
(11月30日現在)

2,552,928円

### あま市社会福祉協議会でお預かりした義援金寄付者(施設)一覧

8月1日～11月30日

(順不同・敬称略)

喫茶さろん	3,320円
あま市青少年健全育成推進協議会	20,150円
林 敏夫	200,000円
鰐魚太	64,464円
スーパーうおたお客様一同	64,464円
鰐村上商店	1,976円
あま市甚目寺レッツダンス	20,000円
匿名(1件)	20,000円
本郷憩の家	414円

森憩の家	922円
新居屋憩の家	8,332円
下萱津コミュニティ防災センター	340円
上萱津コミュニティ防災センター	78円
坂牧コミュニティ防災センター	272円
甚目寺総合福祉会館	2,257円
七宝総合福祉センター	2,833円
美和総合福祉センターすみれの里	796円

# 東日本大震災ボランティアセンター後方支援

あま市社会福祉協議会七宝支所 春名 靖

東日本大震災の後方支援で、平成23年9月25日(日)～10月1日(土)の7日間、岩手県大船渡市へ行ってきました。現地では、愛知県内の市町村社会福祉協議会が3人1組で、大船渡市復興ボランティアセンターの運営支援を行ないました。

## 「災害」ボランティアセンターから「復興」ボランティアセンターへ

東日本大震災が起って半年が経過しました。市街地にあるがれきの撤去はだいぶ進んでいました。一方で、津波などの影響で地盤が沈下してしまい、満潮になると側溝を通って道路が冠水するなど、復興に向けてはまだまだ時間がかかりそうです。

9月に入り、ボランティアセンターの名称が「災害」ボランティアセンターから「復興」ボランティアセンターに変更となりました。災害から半年経ち見えてくる問題も様変わりしてきました。ボランティアセンターの機能としてはこれまでどおりの支援を行なっていきます。



復興ボランティアセンター



道路が冠水

## ボランティア活動について

ボランティア活動でほぼ毎日あったのが、①写真の洗浄②川や港付近での側溝の泥上げです。他には、個人宅からの依頼(家具の移動や掃除、断熱材はがし等)や仮設住宅へのチラシ配りがありました。9月末になってきて、ボランティアさんの活動人数も日によってバラつきがあります。(ボランティアさんの数:1日28人～120人)。

ボランティアさんも以前と比べ人数が少なくなりつつある中で、ほぼ毎日のように活動している地元のボランティアさんも何人かいました。継続的に活動を行ってくれるボランティアさんは大きな力であると感じました。



ビニールシートの貼り直し作業



オルガンの移動作業

## 大船渡市の障がいのある人たち

大船渡市の職員の方と、お話をさせてもらう機会がありました。避難所で当時の話を聞きすると、「避難所では奇声を出す子がいて、周りからの目でいられなくなったケースがあった」とのことでした。福祉避難所を設置すれば全てが解決するのか答えはわかりませんが、考えていかなければならぬ課題であると思いました。また、障がい者用の仮設住宅に住んでいる人たちが、仮設住宅を出るときの「住まい」をどのように確保していくのかが今後の課題でもあると職員の方は話されていました。



障がい者用の仮設住宅

## 大船渡市の現状について(9月末現在)

朝・晩は上着を着ないと寒いぐらいの気温です。これから冬に近づいていく中、ますます気温が下がって寒くなります。仮設住宅の人たちも厳しい冬を乗り越えていかなければなりません。救援物資の保管場所では、集めた毛布を仮設住宅の人たちに供給することでした。

東日本大震災から半年が経ち、大船渡市の避難所にいたたちは自宅に戻ったり、仮設住宅に移るなどして、避難所は閉鎖となりました。避難所では大変ながらも皆が協力し生活してきたのが、仮設住宅に移ったことで隣の人もわからない状況の中で、誰とも接することなく孤立してしまったと聞きました。そして、「孤独死」などの問題も起きてくるのだということです。

「災害」支援から「復興」支援に移っていく中で、浮かび上がってくる問題や課題も変わっていきます。復興までにはとても時間を要するということ。そして、それには長期的な支援が必要であると改めて実感しました。今回の活動経験を大切にし、あま市で災害が起きたときにそれを活かせるようにしていきたいと思います。



崎浜地区の堤防



愛知県の中学校から千羽鶴

## 東日本大震災支援4市ボランティアバス活動報告

あま市社会福祉協議会本所 竹田 進午

あま市・愛西市・津島市・弥富市の社会福祉協議会の主催のもと、ボランティアバスを派遣しました。活動期間は、11月3日(木)～6日(日)。参加者総勢26名(あま市5名)。

### 活動報告

岩手県陸前高田市の災害ボランティアセンターのもと、田んぼの中のがれきの撤去作業を行いました。活動にあたっては、参加されたボランティアさん・災害ボランティアセンターのみなさんの協力のもと、さまざまのがれきの撤去作業を行なうことができました。

被災した地域では、活動をした地区以外にもがれきが山積みになっているところや車や船や津波で被害のあった建物など、まだまだ復興が進んでいないところがあり、今後も継続して支援を行っていくことが必要と感じました。



津波により、木材が木にぶら下がっています。津波の高さは10m以上あったと考えられます。



田んぼの中には原動付バイクも



倒壊した建物が、いまだ撤去されず残されています。

## 第2回 ふれあい交流会が開催されました!

11月12日(土)に甚目寺総合体育館において開催されましたあま市心身障害児者保護者会(菜の花会)による、ふれあい交流会にボランティアとして参加した甚目寺中学校、甚目寺南中学校の方の感想文を紹介します。



甚目寺中学校 3年C組 米盛寛通

最初は部活を卒業して暇をもて余っていたのでなんとなくで参加した交流会でしたが、交流会が近づくにつれ「自分は上手いこと障がい者の人とやっているんだろ?」と心配になって気が気ではありませんでした。しかし交流会当日、集合時間に体育館にいき待ち時間を友達と話してつぶしていたら、緊張しているのは自分だけじゃないと知り少し気が楽になつたので「そだー外国人と話していると思ってみよう!」と覚悟を決めることにしました。

しかし交流会の時間が近づき体育館に障がい者の人たちが集まつて来たとき僕は自分の覚悟がまだまあまいものだつたことに気づきました。なぜなら僕は今回の交流会には僕たちと同年代の子がたくさんくるんだと考えていました。しかし実際には自分より小さな子からあきらかに大人に見える方まで幅広い年齢の人が集まつきました。この頃既に僕の心は折れかかっていましたが、「覚悟を決めたからには弱音は言つまじ」となんとか自分を奮い立たせました。

そしてその後係の人によつて中学生と障がい者で一人組のペアが作られ、いよいよ交流会が開催されました。交流会については、「もううつむいてもなれ!」と半ばやけくそだったのであまり詳しくは覚えていませんが、「つだけハッキリと言えるのは、『彼らと上手いことやっていくことは最初考えていましたが、難しくはない』と言つたのです。なぜなら彼らはいつも僕たちに対し積極的に接してくれるのに、自分たちも彼らを拒否しないで積極的に接すれば、互いにわかりあうことができたからです。僕は今回の体験でここには書ききれないほどの皆さんとのことを学びました。きっと今回学んだたくさんのこととは、僕のこれから的人生に大きな影響を与えることになり、最後に今回このような機会をあたえてくださった人々に感謝の気持ちをこめて終わりたいと思います。



甚目寺南中学校 3年A組 吉田侑加

最初、障がいの方とペアになって行動すると言つたときは、「どんな人が来るんだろう」と緊張していましたが、ペアになった方が、「…」と安心して行動することができました。デカパンやパン食い競争など、私たち中学生と障がいの方と一緒に楽しむことのできる競技もあって楽しかったです。

世の中には障がいの方に偏見をもつてゐる人がいます。私は、なぜ偏見を持つたのだろうと思つました。みんなと同じことができるからでしょうか?しかし、私は同じことをできなくても良いと思います。なぜなら、まったく同じ人なんていらないだから、同じことをできなくても普通だと思つかります。また、人は一人では生きていけないのでだから、できないことを互いに補いながら、支え合つて生きていけば良いと思つたからです。そして障がいの方はデカパンやパン食い競争ができるくらいですから、皆が思つてゐるよりもいろいろなことができると思います。

偏見を持つた人がいるこの世の中で、障がいの方が生きていくことは辛く苦しむと思います。

しかし、その苦しい中を頑張つて生きていらるところはとてもやばぱりしい」といたど思います。

そうやって頑張つて生きていらる人のことをなせかなす」とができるのか分かりません。

障がいの方はまだ生まれてきて、「一生懸命生きていらるだけなのに、私は、偏見を持つてゐる人がおかしいときちんと思つた」とできる世の中をつくつていかなくてはならないと思います。私は今まで友人知人が、障がいの方をバカにして、「イコふつてる」と思われるのが嫌で、「そんなことないよ。」「そつかな?」の言が言えませんでした。

今思つて、とても恥ずかしいことだと思います。

なので、これからは障がいの方たつてじろじろなどとができるのだから、「そんなことないよ。」「そつかな?」といふ言が言えるようになりました。

障がいの方々について、楽しく学ぶことができたので、ふれあい交流会に参加して本当に良かったです。

## 平成23年度あま市子ども会大会が開催されました

10月15日(土)、美和文化会館にて平成23年度あま市子ども会大会が開催されました。当日は子ども会員150人の参加、大会進行なども子ども会員が行い、すばらしい大会となりました。

また、あま市子ども会旗も初めてお披露目されました。子ども会員へデザインを募り、応募数82件の中から西姫奈さんのデザインが選ばれ、製作されました。



子ども会大会の風景



大会進行した子ども会員



デザインが選ばれた西姫奈さん(右)

## 第10回あいち障害者フライングディスク競技大会結果



団体競技の部 ディスリート5 準優勝

11月13日(日)、愛知県体育館において第10回あいち障害者フライングディスク競技大会が開催され、あま市身体障害者福祉協会からも参加しました。日々の練習の成果もあり、優秀な成績を収めることができました。

**祝100歳 おめでとうございます**

美和デイサービスセンターを利用されている本橋美子さんが11月に、満100歳の誕生日を迎えられデイサービス利用者の皆さんや職員と長寿のお祝いをしました。社会福祉協議会職員からは花束が贈られ、美子さんからは満面の笑みで「ありがとうございます。」と喜んでいただきました。



## 認知症予防の知恵

- ① めざせ!! 1日1回散歩をしよう。(無理は禁物)
- ② 趣味を持つなど好きなことをして  
プラス思考で過ごそう。
- ③ かたよらず色々な物を食べよう。
- ④ よくかんで、腹8分目。
- ⑤ お医者さんに相談しよう!!  
(高血圧、高脂血症、糖尿病等の生活習慣病に注意)



## ボランティアコーナー

# 受賞おめでとうございます

平成23年10月26日(水)、愛知県体育館において

第59回愛知県社会福祉大会が開催され、

長年にわたるボランティア活動が称えられ、次のグループが表彰されました。(順不同 敬称略)

### ◎愛知県知事感謝

人形劇団にくじやが



### ◎愛知県知事感謝

おはなしグループグー・チョキ・パー



### ◎愛知県社会福祉協議会長表彰

パールの会



### ◎愛知県社会福祉協議会長感謝

倶楽部 蜂須賀台



## 登録ヘルパー 募集中

ちょっと空いた時間、高齢者や障がい者のお手伝いをしてみませんか?  
まずはお気軽にお問い合わせ下さい。

職種 登録ヘルパー

資格要件 ホームヘルパー2級以上

問合せ先 あま市社会福祉協議会 ☎443-4291



## ボランティア連絡協議会よりお知らせ 各種サロンを開催中!

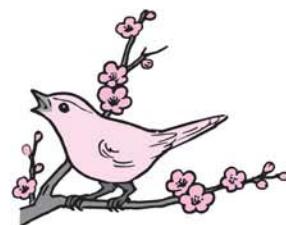
私たちと一緒に、楽しくお話ししませんか？ぜひ、お出かけください。

### ふれあいサロン

日 時	1月30日(月) 午前11時～午後3時
場 所	上萱津コミュニティ防災センター（上萱津）
日 時	2月6日(月) 午前11時～午後3時
場 所	甚目寺会館（甚目寺）
日 時	2月13日(月) 午前11時～午後3時
場 所	コミュニティプラザ萱津（中萱津）
対 象	各地区にお住まいの60歳以上の方
内 容	手作り昼食とレクリエーション
参加費	200円 ※参加費は当日ご持参ください。
申込み	あま市社会福祉協議会 ☎443-4291へ、お申し込みください。 申込締切は各開催日の4日前になります。

### さわやかサロン

日 時	1月16日(月)・2月20日(月) 午前10時～正午
場 所	あま市甚目寺総合福祉会館
対 象	市内にお住まいの60歳以上の方
内 容	小物作り
参加費	100円 ※参加費は当日ご持参ください。
申込み	不要



## 善意のご寄付 ありがとうございました

・加藤崇康	10,000円
・あま市女性の会甚目寺支部	20,000円
・古道子ども会	5,000円
・宮崎純子	19,633円
・村上医院職員一同	10,000円
・匿名	20,000円

皆様からお寄せいただきましたご寄付は、ご趣旨に基づき有効に活用させていただきます。ありがとうございました。  
(順不同・敬称略) 《10~11月分を掲載》

チャリティボックス	
・甚目寺西今宿郵便局	5,461円
・甚目寺本郷郵便局	4,836円
・あま市甚目寺老人福祉センター	11,199円
・あま市人権ふれあいセンター	3,151円
・JA海部東などの花の会	15,364円
・あま市甚目寺総合福祉会館	4,768円
・鉄板居酒屋きみちゃん	8,338円
・喫茶「パーク」	5,479円

## 1・2月 法律・心配ごと・福祉のお仕事移動相談 日程表

場 所		甚目寺総合福祉会館	七宝総合福祉センター	美和すみれの里	相談時間
問合せ先		443-4291	441-1681	446-0611	
無料法律相談 (要予約) 20分／1人	1月	5日(木)・19日(木)	26日(木)	12日(木)	午前10時 ～ 正午
	2月	2日(木)・16日(木)	23日(木)	9日(木)	
心配ごと相談 (予約不要)	1月	12日(木)	19日(木)	5日(木)	
	2月	9日(木)	16日(木)	2日(木)	
福祉のお仕事 移動相談	1月	18日(水)			午前10時 ～ 午後4時
	2月	15日(水)			

### 法律相談 予約方法

相談日の1ヶ月前（1ヶ月前が、土・日・祝日の場合は次の平日）から相談希望の場所で電話予約を受け付けます。